



フィールドワーク研修を実施



11月2日(月)、大阪府の堺市立人権ふれあいセンターを中心にフィールドワーク研修を実施、38社43名の参加をいただきました。

将棋の伝説的名人といえば、阪田三吉という答えがかえってきますが、彼が堺市の被差別地区に生まれ、差別と貧困との戦いの中から「名人」と呼ばれるまでになったことや、映画や舞台・演歌などで紹介されている「粗野、奇人、変人」とは全くうらはらの、お酒

落で律儀な、人望の厚い人柄であったことは、あまり知られていません。

のちの大山康晴名人、升田幸三名人、内藤國雄九段など将棋界の大御所に大きな影響を与え、また、おりたたみ型の携帯将棋盤も阪田の考案によるものです。

今回は、阪田三吉の生涯と彼の生まれ育ったふるさとを中心に研修し、差別と戦う人間の強さ、優しさ、そして、差別しない社会をつくる大切さを学びました。



阪田三吉ゆかりの将棋の品一式

平成21年度 人権標語募集

12月4日(金)～12月10日(木)は人権週間です。

この機会に各企業・事業所の取り組みの点検をしてみましょう。

企人協では、人権週間の取り組みとして「人権標語」の募集をしています。詳細は各企業・事業所に送付していますので「窓口担当者」に確認してください。最優秀賞・優秀賞(12点)を始め、人権標語に応募された各企業・事業所3名のかたがたには賞品や参加賞を贈呈します。

皆様のご応募をお待ちしています。

今年も、こんな活動をおこなっています

経営者トップ研修会

平成21年7月16日(木)



7月16日(木)、忍びの里プララで経営者トップ研修が開催され、甲賀市87名、湖南市60名、計147名が参加されました。今回は「パワーハラスメント、セクシャルハラスメントのない職場をつくるために」と題して、社会保険労務士の桑野里美さんに講演していただきました。職場のハラスメントは、個人的な人間関係のもつれではなく、れっきとした労働災害であるという社会通念が定着し企業として、いかにその対策を講じるかが重要となっています。講演では、「パワーハラスメント(職権による人権侵害)が原因とみとめられたケース」を事例に法律の解釈が行われました。また、ハラスメント防止のため管理職として留意することや、職場の一員として気をつけることなど、ハラスメント防止のための留意点を教えていただきました。今回の講演で男女労働者が、セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等あらゆるハラスメントのない職場でいきいきと働くことができるような雇用管理の実現に向けて、ハラスメント防止の取り組みを積極的にすすめるきっかけになったのではないのでしょうか。

企人協人権フォーラム

平成21年8月6日(木)



8月6日(木) 忍びの里プララで「第2回人権フォーラム」が開催され、市内事業所より79名の参加をいただきました。昨年より新規事業として今回2回目となるこのフォーラムは、各企業・事業所の窓口担当者が職場での研修方法がわからないという意見から他の企業・事業所の情報や意見交換などから啓発の水準を高めようと始めました。

今回ファシリテーターとして大阪企業人権協議会 事務局長 内海義春さんに「ステレオタイプ・偏見と差別」と題しビデオを教材に職場研修の進め方を意見交換や提案を交え指導していただきました。

「ステレオタイプ・偏見と差別」について解説され、ステレオタイプで物事をみるという習性が時として差別につながり大変恐ろしいということを理解し、これからの仕事、生活の中で物事を客観的に見る、そして「その人個人をしっかり見る」ようにしていきたいと思います。

9月10日(午前) 土山会場 (午後) 水口会場
9月16日(午前) 甲南会場 (午後) 信楽会場
参加者…4会場あわせて127名

ブロック別研修会



今日の経済不況の荒波は、社会のさまざまな場所におしよせています。

特に、言葉や生活習慣のちがいによる問題をかかえながら、不安定な就労状態におかれてきた日系外国籍のかたがたは、今、大変きびしい状況におかれています。

今回は、こうした人々を支援するために活動しておられる 野口喜代美さん(しが外国籍住民支援ネットワーク代表)を講師にお招きし、「日系外国人の生活と就労実態」と題して講演していただきました。

「日本人が大変なときに、なぜ外国人を支援するのか?」という意見があります。では、なぜ今、支援を必要とする外国籍のかたがたがいるのでしょうか?かつて日

本社会は、深刻な労働力不足の解消のために、法律を改正してまで外国からの労働人口を受け入れました。日本のためにやってきた人々を、今は必要ないから、困っていても支援しない…というのは、人間としてあまりにも冷たすぎるのではないかと。そんな思いを込めながら、野口さんは自らの活動を紹介し、参加者へ支援の呼びかけをされました。

9月16日の会場では講演に引き続き、野口さんの友人のナティビダッド・サンチェス・牧さん(水口町在住)が演壇に立ち、日本社会の住みよさ、日本人のあたたかさ、そして家族や孫たちとずっと住み続けたいという気持ちを話され、最後に、会場みなさんに感謝の気持ちを込めて美声の歌を披露し、万雷の拍手がおくられました。

この他にも、
こんなことを
しました。

★差別落書対応マニュアルの作成・配布

★人権啓発グッズの作成・配布

★湖南市企人協雇用部会との意見交換
(7月16日)

★人権パネル展(8月23日)